

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 52 週（2024/12/23～12/29）感染症発生動向調査速報値（ 2025/1/7 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **278** 人、定点医療機関当たり **5.79** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

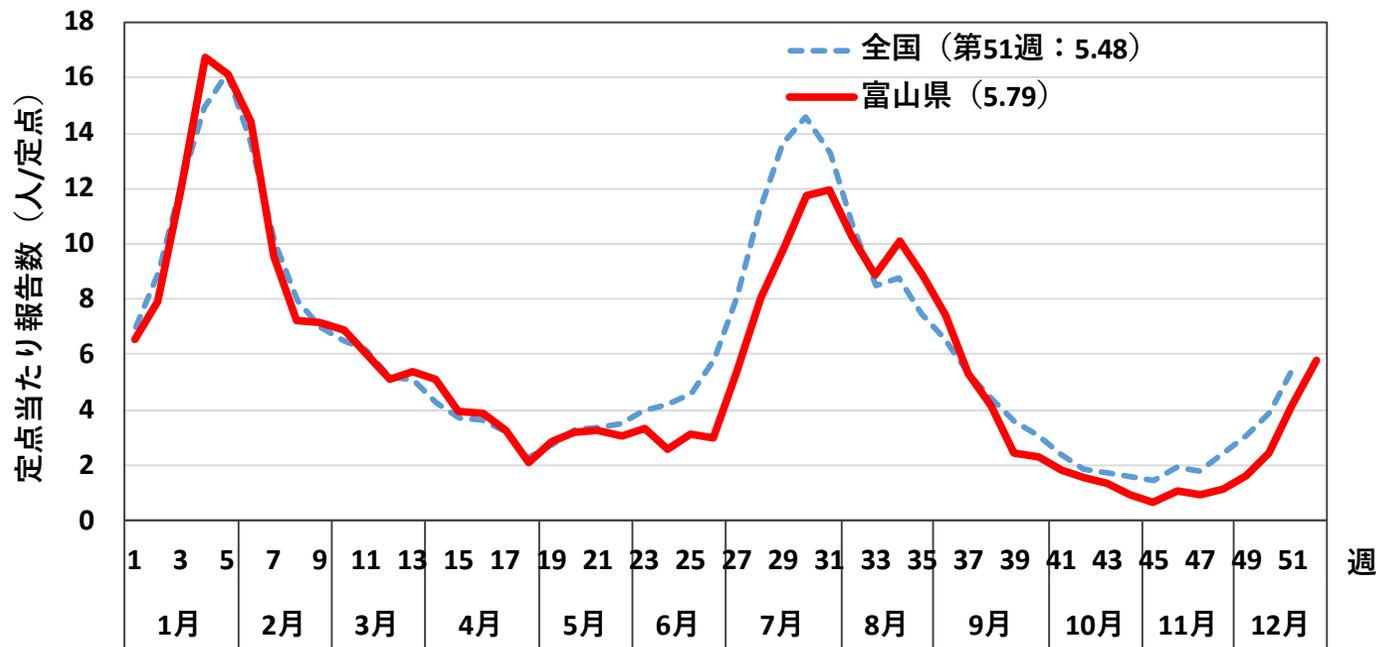
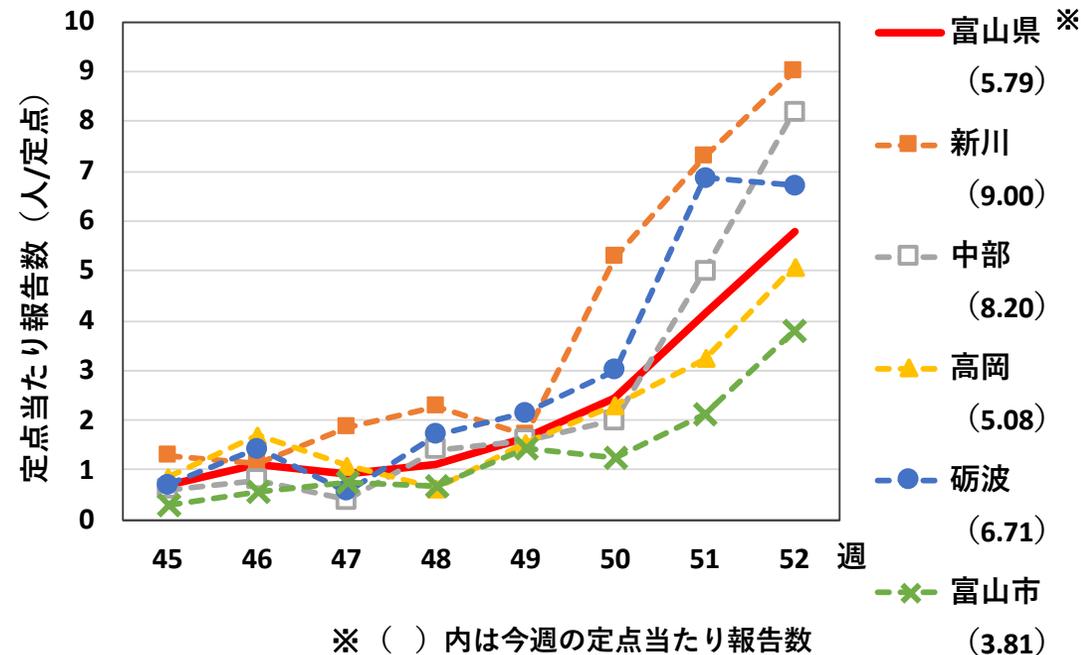


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は5.79人/定点であり、先週（4.17人/定点）から増加した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波管内以外の全ての管内で増加した。（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

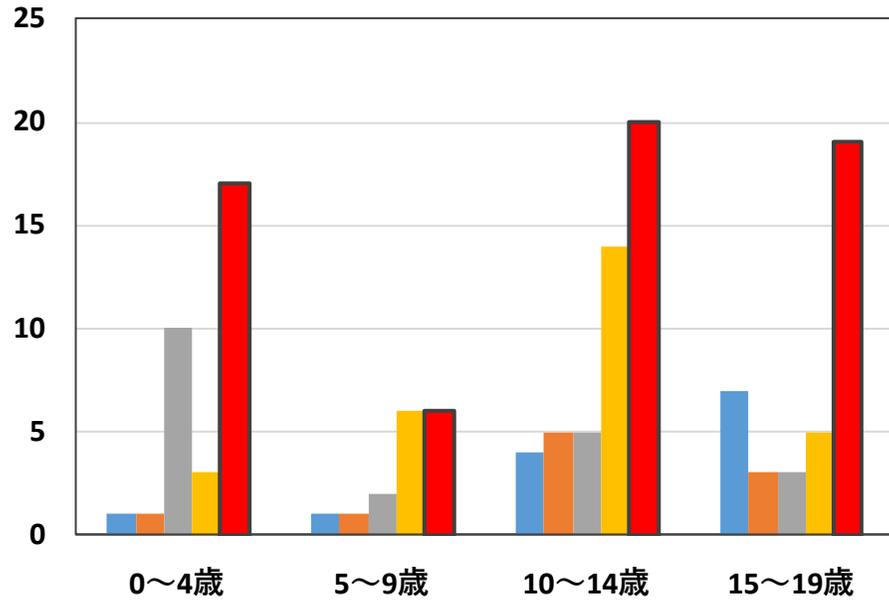
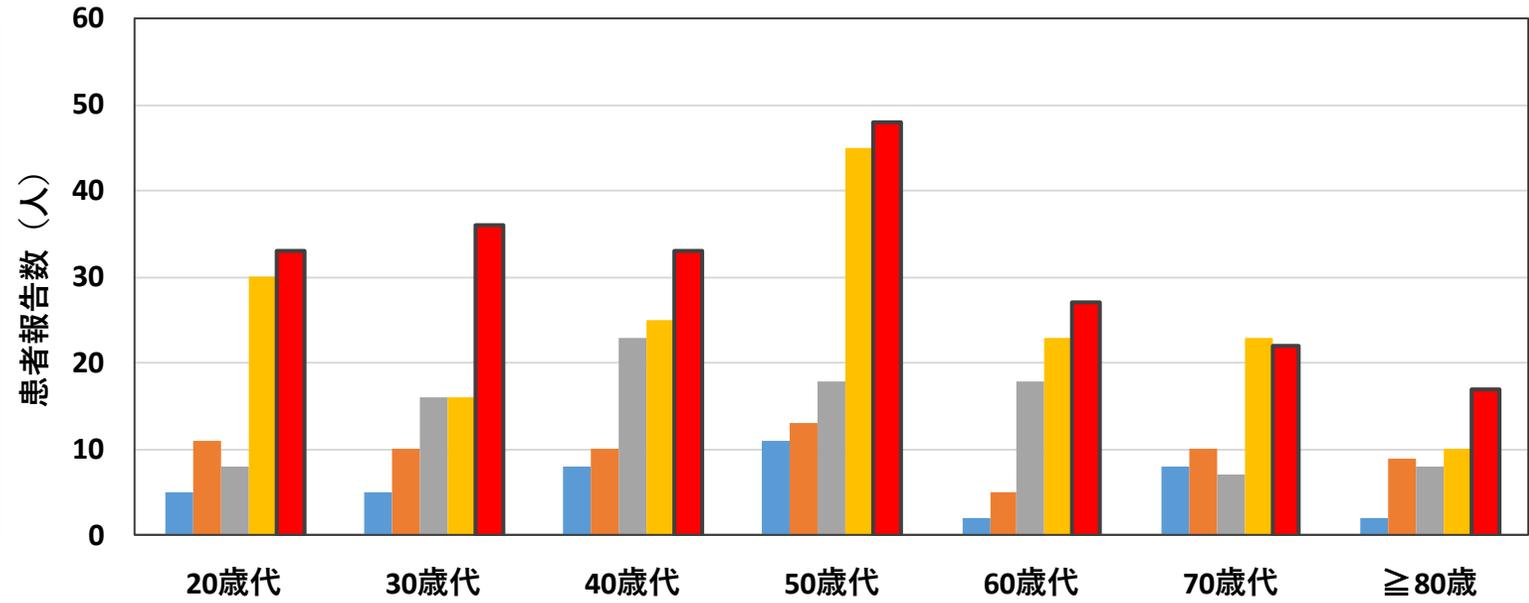


図3-2. ≥20歳



■ 第48週 ■ 第49週 ■ 第50週 ■ 第51週 ■ 第52週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～9歳、70歳代以外のすべての年代で先週から増加した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

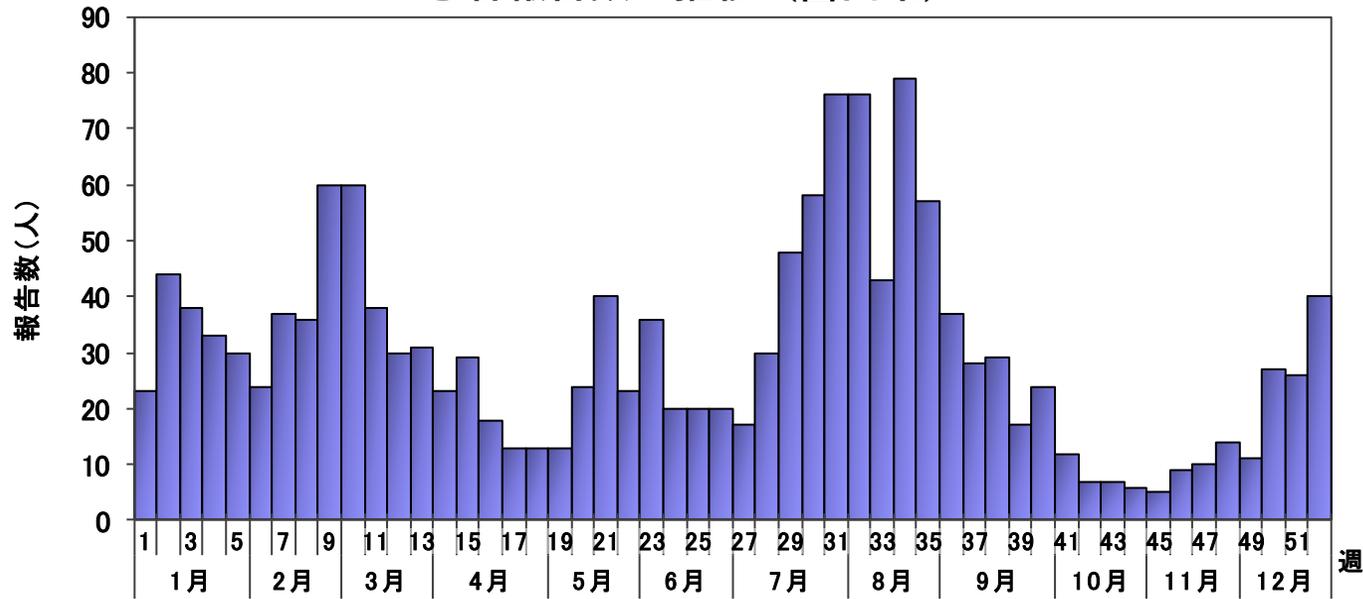
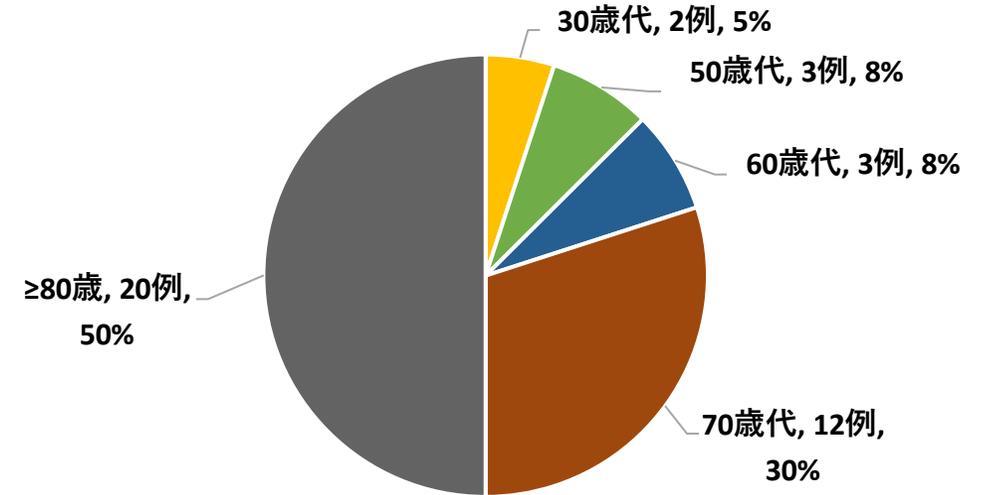


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第52週、40例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第52週に40例の入院報告があり、先週（26例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、30歳代が2例、50歳代、60歳代が各3例、70歳代が12例、80歳以上が20例で、70歳以上が80%を占めた（図5）。
- 県内のCOVID-19の患者報告数は、第48週以降増加が続いている。また、70歳以上を中心として入院患者数も増加傾向である。昨シーズンは冬季にかけて報告数が増加しているため、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。